

2026年(令和8年) 4月24日 第61号

# 市民貢献人会報

苫小牧市後見支援員等連絡会 発行人:村上尚保 ☎38-7291

59人目

## 上平トシ子氏 市民後見人受任



私は令和5年7月第14期後見人養成研修を修了し、令和6年7月より市民後見支援員としてSさんの入所する施設を訪問するようになって早いもので1年9か月になります。

初めてお会いした時から冗談を言っては笑っている方でした。それは今も変わることなく毎月お会いすると私の話に突っ込みを入れ、あーまた一本やられたと思うものの、温かなお人柄を感じます。

市民後見人としての私の役割として、地域生活者としての目線でコミュニケーションや見守りを重視し安心して頼って頂ける存在である事、けして自分の価値観や判断を一方向的に押し付けたりする事なく、ご本人が安心して施設生活を続けて行くことが出来る様、関係機関や後見支援センターと連携をとり常に謙虚な姿勢で寄り添って行きたいと思えます。その為には学びを深め知識や情報を習得しご本人の権利擁護の視点を持ちより身近な存在として社会貢献に努めてまいりたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

会報の作成ですが今回から<村上>が担当することになりました。慣れていないのでいろいろご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。過去の会報を参考にしながら作成しますがこんな記事はどうか?というアイデアがある方は<村上>までお願いします。

## 三河 敏規氏 ご勇退

苦小牧市役所を定年退職して市民相談所長を経て平成 28 年からは後見センターで勤務されてきました。市民相談所所長時には後見センター設立準備委員として関わっておられました。センター設立前は法人後見を立ち上げ契約能力が乏しくなった日常生活自立支援事業利用者の後見人を社協が受任出来る仕組みを作り上げました。その後、後見センターが設立され市民後見人の養成・フォローに長く尽力され市民後見人の方々から頼りにされてきました。15 年という長きにわたり市民後見人支援の礎をつくってこられたことに感謝申し上げます。また三河さんは苦小牧市の市民後見人第 1 号になるという決意を有言実行され、平成 30 年から現在まで数多くの方の後見人を務めていただいています。



三河さんの最終出勤日に後見センター職員一同でささやかに送別会を行いました。感謝の気持ちをこめた「卒業翔書」を読み上げ、似顔絵のチョコののったケーキを贈りました。皆さん涙々の送る会になりました。三河さん自身も市民後見人ですので時々後見センターに顔を出してくれることでしょう。三河さん、職員一同お待ちしておりますのでいつでも顔を出して下さいね。

今まで市民後見人の皆さんのフォローをしていた三河さんが 3 月末で退職されました。今後皆さんのお手伝いをするのは<舟橋>になります。三河さん同様後見での経験は豊富ですので安心してお問合せ下さい。後見人の皆さんの机は以前あったセンターに入ってすぐの机に移動しました。その隣が<舟橋>の机です。よろしくお願ひします。